

## 会 議 録

会議名		令和6年度 第5回清新地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時		令和6年11月20日(水) 19時00分～20時20分		
開催場所		清新公民館 大会議室		
出席者	委員	16人(別紙のとおり)		
	事務局	5人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか3名、地域活力推進員 1名)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議 進行表		1 開 会  2 勉強会 相模原市のごみ対策について (講師：廃棄物政策課、資源循環推進課、橋本台環境事業所より各1名ずつ)  3 議題 地域活性化事業交付金事業の申請について 地域活性化事業交付金の交付状況等について  4 閉会		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

### 1 開会

事務局が開会し、丹波会長があいさつを行った。

丹波会長からは、本会議の委員が主体的に運営に携わった「清新ふれあいフェスタ」について、10月6日（日）に盛況に行われた旨あらためて謝辞が述べられた。

また、来年度は地域活性化事業交付金の交付回数が上限に達するが、地域に定着した意義のあるイベントに発展したため、継続して実施する方向とし、日程や内容等について鋭意調整していく旨の報告がされた。

### 2 勉強会

廃棄物政策課職員から「相模原市のごみ対策について」の説明が行われ、その後質疑応答が行われた。（●まちづくり会議委員、○市職員）

●戸別収集をすればごみは減っていくのかと思っていた。相模原市は政令市の中で一人当たりのごみ排出量が多い方であるが、一方、同様に戸別収集をしていない横浜市などはごみ排出量が少ない。この違いについて分析したことはあるか。

○分析はしているが、明確な違いは掴めていない。その違いを掴むことが、本当に大事だと思っている。有料化も戸別収集もごみの減量効果は大きいですが、広島市や横浜市は相模原市と同じような状況にもかかわらず、ごみ排出量が少ない。そのような市とは担当者と連絡を取り合い、情報交換を行っている。

●昨年度、清新地区まちづくり会議では、ごみの分別方法や各町名ごとの収集日が書かれた保存版のチラシを作り、地区内に全戸配布した。本年度はごみ集積場所をきれいに使うことを呼び掛けようと、水切り・分別・収集日を守ろうという3つをテーマにしたポスター等の掲示物を作り、さらなる啓発を行うことを考えている。

また、日本では年間4兆円分（2022年）の食品が廃棄されているとも言われているが、来年度はこの食品ロスの問題をテーマにしたいと考えている。

先ほど政令指定都市の中でも相模原市はまだまだという話もあったが、横浜市や川崎市に比べて市域の広さ、人口密度の低さが、ごみ行政の運営を困難にしている要因の一つではないかと思った。

●時間を掛けグループワークをしてきたが、その中で出た意見等を本日の提示資料のとおり1枚にまとめた。それぞれの項目に対して可能な範囲でコメントをいただけないか。

○廃棄物政策課、資源循環推進課、橋本台環境事務所より、それぞれ担当する部分について回答があった。

#### 《ごみ収集で行政が困っていること》

- ・分別されていないこと及び排出日の曜日が守られていないこと。また、包丁等の先が尖ったものは新聞等に巻いて出すようお願いしているが、それが守られてないために職員が怪我をしてしまい、1週間ほど休まざるを得なくなることもあった。
- ・小型充電式電池は収集していないが、それが収集車に入れられてしまうと回転盤と擦れて発火する。他の市では収集車が全焼した。収集車は1台1,000万円する。

#### 《清掃工場はいつまで稼働できるか》

- ・北清掃工場は平成3年に整備されたが、令和18年まで稼働させられる。ごみの工場は概ね20年から25年ぐらいが稼働の限界で、もっても30年と言われている。そのような中、北清掃工場は令和2年までの4年間、約69億円をかけて基幹改良工事を行い、15年間の延命をした。その結果、45年間稼働させることが可能となり、現時点では国内トップクラスの稼働期間となる見込みである。
- ・南清掃工場は平成21年に整備されたが、こちらも北清掃工場同様に基幹改良工事を行うことを予定している。南清掃工場はごみの焼却温度が高く、通常900度から1,000度ぐらいのところ、1,300度で焼却できる施設のため、どうしても痛みが進み、普通に稼働していると北清掃工場よりもたないが、技術進歩の恩恵も受けながら、長く使いたいと考える。

#### 《ごみの収集を有料にしたらごみは減るか》

- ・どこの自治体も有料化前と後で比べると減っている。また、ごみ袋の値段で減り方が変わる。通常は1リットル袋で概ね1.5円から2円ぐらいであり、大袋だと60円から80円ぐらいの金額になる。有料化を始めると、約15%減るとされていて、ごみ袋を安くすればごみの減り幅は小さくなり、高ければ減り幅は大きくなるという数字がある。しかし、様々な影響もあるので、単純にごみ袋の値段を高くするのが良いとは言い切れない。

#### 《戸別収集と有料化の検討の進捗状況》

- ・ごみを減らしていく中でとても重要なテーマである。学識経験者や各種関連業界団体の代表の方などで構成する廃棄物減量等推進審議会という場があり、本年度からこのことに力を入れて議論していただいている。
- ・例年この審議会は年に2回程度の開催だが、今年は戸別収集と有料化を議論するために今月時点で既に4回目の開催に至っている。有料化と戸別収集をやる、やらないのどちらにも現時点では軸足は置いていなく、良い点、悪い点がそれぞれにあるので、その課題を議論している。

#### 《他市の良い取り組みを学ぶ機会があるか》

- ・工場見学であれば、「町田バイオエネルギーセンター」をはじめ、2年前にできた八王子市の「館クリーンセンター」がある。例えば、団体に申し込むと職員が付いて施設を見て回りながら各市のごみの取り組みを聞くことができる。また、八王子市はYouTubeにごみに関する動画を上げている。

#### 《自治会加入率が低下する中、なぜごみ集積場所の管理を自治会任せにするのか》

- ・こういう声はたくさん寄せられており、重要な課題だと考えている。相模原市には現在約2万箇所の集積場所があり、自治会の皆様のおかげで成り立っている。もし、戸別収集を始めることになれば、自治会の集積所管理負担が軽減し、一般ごみだけでなく資源も戸別収集となれば、集積場所の管理自体が減ることが見込まれる。

#### 《ごみ集積場所のネットについて》

- ・ボックスはカラスやねずみ対策に有効である。しかし、その設置は民地に限られる。路上に置かれたボックスが原因で怪我をしたという事例が過去にあり、管理をしていた自治会が損害賠償請求されたことがある。新規で集積場所の設置を申請する場合は、民地に設置している。申請者が不明で昔から設置されている路上置き集積場所は移転する時に民地への移動をお願いしている。

#### 《地区別にごみの回収量を開示してみてもは》

- ・現在のごみ収集コースが清新地区と近隣地区をまたがっており、地区別の回収量を示すことが難しい。

#### 《市の職員、担当者はごみ集積場所の調査・確認を行ったかどうか》

- ・収集時、ごみ集積場所の確認をしている。ルールが守られてない所、例えば、一般ごみの日なのに資源物が排出されている、事業系のごみが出ているなどのことがあれば個別に対応している。

#### 《防犯カメラを設置してもいいか》

- ・交通・地域安全課が主管課なので、そちらに相談してほしい。

#### 《ごみ集積場所の清掃費用を公費で負担できないものか》

- ・市から各自治会や自治会連合会に補助金を交付しているが、その中の環境美化活動推進奨励金などを活用してほしい。こちらの計算だと、各地区連に12万円、加えて1世帯あたり250円、清新地区には約148万円を毎年交付している。この補

助金をごみ集積場所の修繕や清掃の費用に充ててほしい。

#### 《折り畳み式ボックスについて》

・先述のとおり、道路や歩道にはボックス型のごみ箱を設置しないでほしいのだが、他市でごみが無い時に折りたたみできるボックス型のごみ箱を歩道に置いている事例があり、本市の道路所管課が調査、検討を行っている。

●要望・提案であるが、ごみ集積場所の管理を自治会に任せるにしても、ネットやボックスが原因で起きた事故に対する補償は保険が適用されないため、事故の際は市で対応できないものか。また、補助金の算出は自治会員数ではなく、全世帯数を算定の基礎数字にしてほしい。

○本日は補助金の担当が同席していないため明確なことは言えないが、自治会に加入していないマンションやアパートなど、未加入の集合住宅等は自分たちでそのごみ置き場を管理しているところもあり、一概に全世帯数分というのは難しいと思う。

●相模原市に子どもの教育も兼ねたごみ分別センターのような施設を整備したらどうか。

○子どもへの教育はとても大事である。相模原市では収集作業員が市内全ての小学校4年生を対象に出前講座を行っている。そういう施設があり、常駐職員がいたら効果があると思っている。

### 3 議題

#### (1) 地域活性化事業交付金の申請について

昨年度のまちづくり会議において、「ごみの分別をあらためて周知する必要がある」、「曜日に関係なくごみを出している」等の地域の環境整備に係る課題が示された。その課題解決に資するため、「ごみと資源の日程・出し方」啓発シートの作成を行い、清新地区の全世帯に配布した。今年度は地区内における現状の「ごみ集積場所」の利用状況を鑑み、環境向上に資する啓発物を製作・配布し、さらなる環境整備を進める。

申請団体名：清新地区まちづくり会議環境整備班

事業名：清新ごみ分別マナーアップ事業～自分のまちから美しく～

事業内容：清新地区のごみ・資源集積場所に「ごみの集積場所をきれいに」を分りやすく示した啓発物（ポスター等）を配布し、地区住民のごみの出し方のマナー意識の向上を図るとともに、SDGsの普及啓発を行う。

啓発物掲示場所：ごみ集積場所、自治会掲示板、地域情報紙等

#### <主な意見・質疑等>

●「ネットを必ずかけよう」という文言を入れた方がいいと思う。

○啓発物の作成に反映させる。

<結果>

採用すべき事業である。

(2) 地域活性化事業交付金の交付状況等について

中央6地区まちづくりセンター所長が資料を用いて説明。質疑・意見等なし。

4 閉会

大山副会長が閉会

以 上

当日の状況写真



## 第5回清新地区まちづくり会議出欠席名簿

NO.	お名前	所属・推薦団体	役職	出欠席
1	丹波 晴道	清新地区自治会連合会	会長	出席
2	大山 孝	清新地区自治会連合会	副会長	出席
3	小俣 広慈	清新地区自治会連合会	会計	出席
4	齋藤 直樹	清新地区自治会連合会	監事	出席
5	山口 敏夫	清新地区社会福祉協議会	会長	欠席
6	服部 裕明	清新地区社会福祉協議会	理事	出席
7	田所 洋子	清新地区社会福祉協議会	会計	出席
8	神谷 静枝	清新地区民生委員・児童委員協議会	会長	出席
9	浅見 治平	清新地区民生委員・児童委員協議会		出席
10	木下 泰雄	清新公民館	館長	出席
11	鈴木 明穂	清新公民館	青少年部	出席
12	玉田 稔	清新地区老人クラブ連合会	会長	欠席
13	押田 直子	清新子どもセンター	館長	出席
14	大貫 努	小山小学校	校長	出席
15	金子 順	小山中学校PTA	会長	欠席
16	小林 亜利子	清新中学校PTA	書記	欠席
17	山中 森勝	有識者		出席
18	磯崎 巧	防犯指導員		欠席
19	武田 邦雄	清新地区青少年健全育成協議会	会長	出席
20	菅原 聡	清新高齢者支援センター	センター長	出席
21	塚原 祐太	さがみ夢大通り商店街	会長	出席